



JR東労組仙台地本

2018政策フォーラム開催!

本日8日、仙台地本「2018政策フォーラム」を仙台地本2階会議室で開催しました。今年は組織的な状況も踏まえ発表機関を限定して行い、仙台支部・郡山支部・小牛田支部・福島支部・会津若松支部から地方ローカル線の維持・発展へ向けた提言をいただきました。また、国際鉄道安全会議に出席する山形支部・左沢線営業所分会からは当日の発表内容について報告がされました。東北の鉄道をどの様に存続させて行くか?今年テーマは職場から自線区の問題点を列挙し、具体的な地方ローカル線の存続へ向けた提言を詳細な資料を交えて行いました。発表機関の提言の内容については各支部に配布の資料を参照して下さい。今後、東北の鉄道は人口減少による存続困難線区が発生する危機感があります。安易に他交通へのシフトに頼らない地域活性化へ向けて今後も課題に対して労働組合の立場から議論を継続していきます。



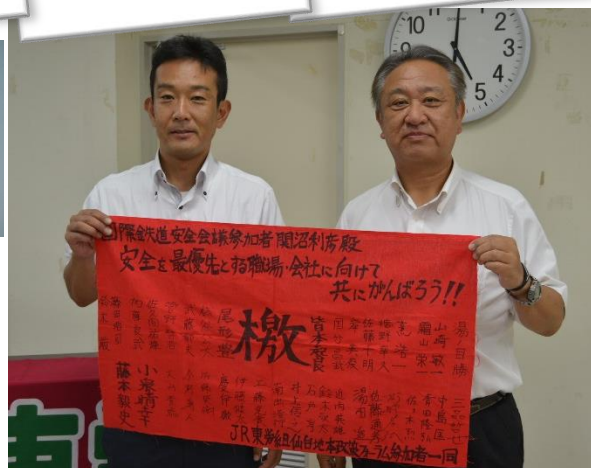
中央本部から3名のご来賓の皆さまにご出席頂きました。
(右から徳野執行副委員長・佐藤組織研修担当部長・銭谷組織研修担当部長)



- ◇仙台支部 「仙石線の今後の在り方を考える」
- ◇郡山支部 「より良い地域ローカル線を残すために」
- ◇小牛田支部 「陸羽東線の利便性向上と安定性向上に向けて」
- ◇福島支部 「福島地区の活性化について」
- ◇会津若松支部 「只見線と沿線の活性化に向けて」

【国際鉄道安全会議報告】

- ◇山形支部 左沢線営業所分会
「正しい報告と処分・指導の在り方
～何でも言い合える風土を創り出すために～」



国際鉄道安全会議に出席する仲間へ
参加者全員から檄布を手渡しました!

提言実現に向けて
更に職場から具体的な議論を巻き起こそう!